

品質改善基礎コース（数値と言語データの整理法） カリキュラム

2024年版

研修名称	『品質管理で考える力を向上しよう！！』		備考
研修概要 目指す姿	<p>先ず工場管理の概念を理解して、品質管理の位置付けと、その論理的考え方を習得する。品質管理の各種手法の考え方を学び、実務での論理的展開力を習得する。</p> <p>この研修の最大の特長は、演習とワークショップ（参加型）を通じて、考える力とコミュニケーション能力の向上を図り、自己成長を得ることである。</p>		
受講対象者	地域企業等の監督者、スタッフ、実務者		
受講者数	定員20名		
研修の特徴 ポイント	<p>比較的経験の浅い人を対象にし、座学と演習及びグループディスカッションなどを、実践する。知識の習得と、その論理的考え方の訓練及びコミュニケーションの場を設ける。</p> <p>講師：新居浜ものづくり人材育成協会 牧野 光雄</p>		
日 時	コ	マ	別 詳 細 内 容
一日目 9:00～12:00		【自己紹介】	★自己アピール！と受講者全員の理解を深める。
		【経済活動と品質管理の変遷を確認しよう】	1-1) 日本経済発展と品質管理の歴史の変遷 1-2) 企業内外の環境変化と品質管理 特に、SDGsとカーボンニュートラル社会へ
		【工場管理の概念】	2-1) 工場とは何か？ 2-2) 工場管理の宿命と現場管理
		【品質管理の基本の確認】	3-1) 品質管理の定義 3-2) 品質保証と検査 3-3) 品質の概念の進化と時代の要求 3-4) 品質管理の全体像
		【科学的品質管理へのアプローチ！】	4-1) 品質管理の根としての5Sと顧客重視及び品質第一 4-2) 品質管理を維持する根幹としての標準化、JIS&ISO 4-3) 品質を改善する中幹としてのP-D-C-AとQC7つ道具
12:00～13:00	昼 食 ・ 昼 休 み		
13:00～17:00		【ワークショップ】	5-1) 汎用データを使用し、QC7つ道具、NQC7つ道具を使った実践演習
	数値データを整理し、グループ討議を通じて言語データの整理と活用方法を学ぶ。		5-2) 発表とQ&A

日 時	コ マ	コ マ 別 詳 細 内 容	
二日目 9:00～12:00	【再び科学的品質管理へアプローチ！】	6-1) QCマネジメントについて	
	【ものづくりの品質管理手法を学ぼう！】	QCストーリーの理解と活用法	
		7-1) ものづくりの品質管理の手順	
		7-2) ものづくりの品質管理の方策	
	【品質管理の実践方法】	8-1) 関係法規の体系	
		8-2) 品質を改善するステップ	
12:00～13:00	昼 食 ・ 昼 休 み		
13:00～17:00	【ワークショップ】	9-1) ワークショップの進め方	
	数値データを整理し、グループ討議を通じて 言語データの整理と活用方法を学ぶ。	9-2) ワークショップの課題： 身近な事象をテーマとし問題点を抽出して、 グループ討議で課題解決する。	
		9-3) 発表とQ&A	
	【受講者にとって品質とは！】	10-1) 人生と仕事の関わり方	
		10-2) 役割分担と必要な資質及び自己成長の要件	
		10-3) 時代が求める品質管理	
【質疑応答】			